

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	町田市鶴川緑の交流館ホール等／町田市立鶴川駅前図書館（図書館運営業務を除く）		
施設概要	【所在地】町田市能ヶ谷1-2-1 【開設年月】2012年10月 【開館日時】第1・3月曜日と年末年始を除く午前8時30分から午後10時まで（ホール等） 【建物面積】5979㎡（町田市立鶴川駅前図書館を含む） 【建物内容】鶴川駅前連絡所、鶴川駅前図書館を含む複合型施設 300席のホール、多目的室、リハーサル室、会議室、練習室等を備える。2012年からネーミングライツを導入【名称】和光大学ポブリホール鶴川 【建物構造】鉄筋コンクリート 地上4階地下2階建		
設置目的	市民の芸術文化の創造活動及び地域的な共同活動その他の市民活動の推進を図り、もって魅力ある地域社会づくりに寄与するため。（町田市鶴川緑の交流館条例第1条）		
設置根拠法令・条例	町田市鶴川緑の交流館条例／図書館法、町田市立図書館条例		
所管部課	文化スポーツ振興部 文化振興課 教育委員会生涯学習部 図書館	問合せ先	042-724-2184 042-728-8220
施設ホームページURL	https://www.m-shimin-hall.jp/tsurukawa/		

(2)指定管理者

指定管理者名	一般財団法人 町田文化・国際交流財団、和光産業株式会社 ＜町田市文化施設指定管理共同事業体＞	法人番号	なし
指定管理者所在地	（代表団体 一般財団法人 町田文化・国際交流財団）町田市森野2-2-36		
指定期間	2022年4月1日～2027年3月31日		
指定管理業務の内容	・鶴川緑の交流館ホール等の施設及び付属設備の貸出し ・市民の芸術文化の向上のため、文化事業を市民が主催あるいは参加する機会を提供する。また、音楽公演、古典芸能などの文化事業を実施し、市民に提供する。 ・鶴川緑の交流館ホール等及び鶴川駅前図書館の各種点検業務を行い、維持管理を行う。		
利用料金制	☐ 該当 ☒ 併用 ☐ 非該当	選考方法	☒ 公募 ☐ 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容（目標値など）	達成時期	達成状況
市内の文化団体等と連携した運営を行い、地域の文化振興に寄与する。	2027年3月	町田市文化協会と連携し、新春文化の祭典などを実施した。まちだアーティストバンクを活用し、町田にゆかりのあるアーティストによる、入場無料のサロンコンサートを6回実施した。
各施設の特徴を十分に生かした事業を展開することで、より多くの方に来場してもらう。	2027年3月	音響効果が高い小規模ホールを活かして、クラシックや映画上映会、落語などを中心に幅広いジャンルの事業を展開した。複合施設内の交流スペースや多目的室を活用してワークショップを3回、絵画展を1回開催した。
適切な利用環境を整え、安全で安心して利用できる施設運営に努める。	2027年3月	トイレや空調機故障など、施設の緊急修繕が複数発生したが、利用者に影響が出ないよう迅速に対応を行った。不審者対策のため、警備の巡回回数を増やすなど、安全安心の施設運営に努めた。

3. 昨年度の課題

内容	多目的室の利用率が50%未満となっているため、諸室の利用率向上に取り組む必要がある。 利用者アンケートの実施回数が不十分のため、時期を工夫する等利用者の負担を考慮しながらデータの収集に努める。 【2024年度評価委員会指摘事項】 平等利用の確保の観点から、実質的な公平性を考慮し、抽選方法を検討していただきたいと意見があった。
----	--

4. 総合評価及び所見

総合評価	C	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	2024年度は2023年度から11事業増え、主催28事業、共催19事業、市民参加型23事業の計70事業を実施した。その結果、事業参加者・入場者数は1,922人増加し、入場料収入も約8,000千円増加した。陸上自衛隊第1師団第1音楽隊の協力を得て3月に開催した「避難訓練コンサート」では、公演時に災害が発生したことを想定し、観客、指定管理者職員とともに実地で避難行動を行うなど、非常時の訓練としても有益な事業を行ったことは評価できる。 また、複合施設の特性を活かし、ホールでの公演や映画上映会に合わせて鶴川駅前図書館と文化講座を3回開催したり、カフェでサロンコンサートを6回開催したりするなど、施設全体で事業展開を行った。 昨年度の課題であった多目的室の利用率については、諸室の様子が伝わるようホームページのリニューアルやチラシの作成を行ったほか、ワークショップや落語勉強会など多目的室での事業に注力した結果、2023年度より改善している。一方、夏季の空調機故障の影響を受けて会議室の利用率は低下した。施設設備の経年劣化が進行しているため、引き続き施設の不具合に適切に対応しながら利用率の向上に取り組んでほしい。 施設の利用者アンケートについては、実施時期に配慮しながら2回実施し、回収枚数は2023年度から40%増加した。 鶴川駅前図書館の施設・設備の維持管理は適切に行われている。 【2024年度評価委員会指摘事項】 実質的な公平性を考慮した抽選方法を検討したが、利用者の利用実績を反映する等の運用は透明性の確保が難しく、現状、施設の利用を希望する市民は日程調整等により施設を利用できていることから、抽選方法の変更は行わないこととした。 「6.業務履行状況の確認」の会計・経理モニタリングにおいて、指定管理業務とそれ以外の業務区分に誤りがあり、「否」としたため、総合評価はCとする。	

【評価対象年度 2024年度】

指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	町田市鶴川緑の交流館では、鶴川駅前図書館や駅前連絡所を含めた施設全体を有効活用した事業を展開し、複合施設としての強みを最大限活用した、交流館ならではの事業を開催した。 例年開催している落語会や映画上映会などは恒例となり、リピーターも定着化して好評をいただいている。定期的に開催している現在「二つ目」の地元落語家・柳家小はげの「小はげ勉強会」では、真打昇進に向けて内容と会場を広げて町田市民ホールでも開催するなど、両館でノウハウを共有しつつ広く市民の方に周知して来場いただけるように努めた。同じく定期開催している「水曜午後の音楽会」は100回を越えるロングラン公演となり、「特別記念公演」ではトップチェリストを迎えて、ホールの特性でもある音の響きの良さと臨場感を身近に堪能していただいた。 あわせて、ひとつの公演の世界観をより深く楽しんでいただくために、公演のイベントやワークショップを諸室や交流スペースを利用して先駆けて開催するとともに、館内の鶴川駅前図書館での特集コーナーの設置、カフェでの事業に関連するメニューの提供など、イベントへの期待感と満足度を高め、質の高いサービスを館全体で提供することができた。中でも、大学教授を招いた「鶴川駅前図書館文化講座」では、音を聴くことだけではなく音楽の楽しみ方を提供することができ、多くの参加者の満足度を上げることができた。 また、施設の有効活用としては、諸室の他に空きスペースを活用し、市内団体による「アート展」や「新春子ども絵画展」などを開催し、多くの地域の方々にご来場いただいた。 このようにイベントを館全体で実施することで、当日の鑑賞以外にも来館していただくことができ、施設の利用率向上にもつながった。
-------------------------------	---

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	施設アンケート【調査期間】2024年7月11日～30日、11月1日～22日 【配布枚数】300枚 【回収枚数】229枚 【回収率】76.3% 【調査方法】利用者へ手渡し、BOX回収 事業アンケート【調査期間】2024年4月～2025年3月 【配布枚数】6,922枚 【回収枚数】2,647枚 【回収率】38.2% 【調査方法】公演時に来場者へアンケート用紙を配布し回収
------	--

指標1	評価基準		目標	結果	評価
利用者満足度(施設)	A: 80%以上 B: 60%以上～80%未満 C: 60%未満		80%	96.1%	A
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2022	2023	2024	2025	2026
目標値	75	75	80	85	85
実績値	96.0	96.5	96.1		

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度(事業)	A:80%以上 B:60%以上～80%未満 C:60%未満	80%	99.1%	A	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2022	2023	2024	2025	2026
目標値	75	75	80	85	85
実績値	98.7	98.4	99.1		

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
施設利用率 (貸出施設平均)	A: 70%以上 B: 60%以上～70%未満 C: 60%未満	70%	63.7%	B	
指定期間内における実績(単位%)					
年度	2022	2023	2024	2025	2026
目標値	66	68	70	72	74
実績値	68.7	63.0	63.7		

指標4	評価基準	目標	結果	評価	
事業参加者・入場者数	A: 16,100人以上 B: 14,000人以上～16,100人未満 C: 14,000人未満	16,100人	16,453人	A	
指定期間内における実績(単位: 人)					
年度	2022	2023	2024	2025	2026
目標値	12,910	16,100	16,100	16,100	16,100
実績値	6,919	14,531	16,453		

【評価対象年度 2024年度】

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
A	指標1、2の施設と事業の利用者満足度は95%を超え、指標4の事業参加者数・入場者数は初めてA評価の基準を上回った。 指標3の施設利用率については微増にとどまったが、全体として良好な結果であったことから、サービスの質に関する総合評価はAとする。

【サービスの質に関する評価基準】 A: 良好である B: 要求水準達成 C: 良好ではない

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	利用者の公平な選考	施設貸出の抽選会を毎月適正に実施している。	ホールは毎月第1木曜日に抽選プログラムで抽選を行い、他諸室は毎月施設案内予約システムで自動抽選を行っていることを抽選簿とヒアリングで確認した。	適
	広報活動	広範に独自の広報活動を実施している。	配布物、市内掲示板や横断幕等で広報活動を行っていることをコンサートガイド、財団HP、SNS、市内外タウン誌、公演チラシ、写真で確認した。	適
施設・設備の運営方針	建物・設備の維持管理	関係法令及び業務基準書を遵守し、必要な点検等の実施及び処置が行われている。	関係法令及び業務基準書に定める点検等を実施及び処置していることを点検報告書で確認した。	適
	芸術文化事業の実施	年間37事業以上実施している。また、事業形態やジャンルのバランスが図られている。	主催28、共催19、市民参加型23の年間70事業を実施し、多彩なジャンルの公演を適切なバランスで実施したことを事業報告書で確認した。	適
情報公開・個人情報保護	情報公開及び個人情報保護の適正な取扱	マニュアルを備え、それに沿った運用がなされている。	財団のマニュアルを確認し、マニュアルどおりに運用されていることをヒアリングにて確認した。	適
	情報公開及び個人情報保護の研修等の実施	全職員への研修・教育が行われている。	情報セキュリティに対する意識向上を図る指導や通知が行われたことを通知文及び情報セキュリティ対策実施状況報告書で確認した。	適
要望対応	要望の管理及び共有	要望を集約し、職員間での情報共有及び市への報告が行われている。	意見要望シートを作成し、要望を集約、職員間で共有するとともに、市へ報告していることを意見要望シート及び月次報告書にて確認した。	適
	事故・トラブル防止	マニュアルを備え、それに沿った運用がなされている。	財団のマニュアルを現地で確認した。また、マニュアルどおりに運用されていることを月次報告書及びヒアリングにて確認した。	適
危機管理	防災訓練の実施	災害、緊急時に備えたマニュアル・体制を備え、年2回の防災訓練を実施している。	マニュアルを備え、年2回の防災訓練を実施していることを緊急対応マニュアル及び訓練報告書にて確認した。	適
	帰宅困難者の受入れ	帰宅困難者一時滞在施設としての受入れ体制が整備されている。	帰宅困難者の受け入れについて、マニュアルを作成し、受け入れ体制を備えていることを、帰宅困難者受け入れマニュアルにて確認した。	適
	各種保険への加入	業務基準書に定めている保険に加入している。	基本協定書で定めた基準を満たす、公立文化施設賠償責任保険、興行中止保険等に加入していることを加入証券にて確認した。	適
人的安定性	職員研修	職員の指導育成のための研修を実施している。	財団が策定した人材育成基本方針に基づき、経理、財団経営、事業・施設運営、マネジメント等の各種研修の受講を受講記録簿で確認した。	適
	職員の配置	業務基準書に定めている有資格者等を配置している。	業務基準書に定める有資格者を配置していることを有資格者名簿にて確認した。	適
管理経費の縮減	管理経費の縮減	施設管理運営費等を縮減するための工夫をしている。	こまめな消灯・節水に加え、電力需要量を管理して電力使用量を削減したことや、調達方法の工夫で備品購入費用の節約に努めていることをエネルギー使用量実績表及びヒアリングで確認した。	適
	事業経費の妥当性	適切な収支により事業が実施されている。	チラシ作成の際に自前でデザインし事業経費の削減に努めた。適切な収支により事業を実施していることを、印刷注文書、収支決算書及びヒアリングで確認した。	適

【評価対象年度 2024年度】

地域貢献	地域住民・団体との連携	地域住民・団体との協働や活動の支援、ネットワークづくりに積極的に取り組んでいる。	市民参加型事業を実施した11団体の活動支援や事業協力を行った。市内文化団体の相談等に対応し、コミュニケーションやネットワークづくりを積極的に実施したことを事業報告書で確認した。	適
	市内従業員の積極的な雇用	市内従業員の雇用率を確保している。	市内従業員の雇用率は61.5%であり、選定時の提案目標55%を上回っていることを職員一覧で確認した。	適
施設連携の	施設間の連携・一体的運営	グループ内の施設それぞれの特性を活かした連携により、相乗効果を発揮した運営・管理が行われている。	グループ施設で実施する事業ジャンルが重複しないよう工夫したり、施設利用チケット購入について、相互に手続きが行えるなど施設間の連携と一体的な運営の取組を実施していることをマニュアル等で確認した。	適

(2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリングその他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2025年3月10日に会計・経理モニタリングを実施した結果、総勘定元帳と管理口座の確認項目で「不適」があったため、「否」とする。	否
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2025年3月10日に労働条件モニタリングを実施した結果、すべての項目が「適」であることを確認した。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
否	(1)指定管理業務の履行状況の確認については、各項目で要求水準を満たしていることを、現地調査、日報、月報、事業報告書等の書類とヒアリングにて確認した。 (2)業務実施体制の確認については、会計・経理モニタリングにおいて、指定管理事業とそれ以外の経費が明確に区分けされていなかったこと等により、「否」とする。

【評価対象年度 2024年度】

7. 財務・収支状況の確認

(1) 公の施設に係る収支

単位:千円

年度		2022			2023			2024		
項目		予算(当初)	予算(変更後)	決算	予算(当初)	予算(変更後)	決算	予算(当初)	予算(変更後)	決算
収入	指定管理料	169,985	180,236	180,236	175,792	184,791	184,791	180,094	185,995	185,995
	利用料金	34,000	30,000	35,107	34,000	26,173	29,672	34,000	30,000	33,138
	事業収入	10,357	11,107	9,453	10,357	10,321	8,399	11,357	12,617	16,476
	自主事業	2,000	1,850	2,239	2,000	300	2,356	2,000	2,000	2,497
	その他	0	1,300	6,113	0	3,266	3,031	0	2,056	3,358
	計	216,342	224,493	233,148	222,149	224,851	228,249	227,451	232,668	241,464
支出	人件費	45,745	46,745	46,669	47,909	46,970	41,523	48,656	42,306	43,998
	管理運営費	152,564	145,380	164,563	159,850	159,261	155,897	164,405	168,438	166,628
	企画事業費	12,650	7,983	8,378	9,007	11,798	11,892	9,007	14,835	15,003
	自主事業	2,000	1,800	1,765	2,000	1,600	1,457	2,000	1,180	1,089
	その他	3,383	3,383	7,111	3,383	5,222	5,788	3,383	5,909	7,462
	計	216,342	205,291	228,486	222,149	224,851	216,557	227,451	232,668	234,180
総計(収入-支出)		0	19,202	4,662	0	0	11,692	0	0	7,284

年度		2025			2026		
項目		予算(当初)	予算(変更後)	決算	予算(当初)	予算(変更後)	決算
収入	指定管理料	177,630			178,473		
	利用料金	34,000			34,000		
	事業収入	11,640			11,840		
	自主事業	2,000			2,000		
	その他	0			0		
	計	225,270	0	0	226,313	0	0
支出	人件費	48,456			48,456		
	管理運営費	162,424			163,497		
	企画事業費	9,007			9,007		
	自主事業	2,000			2,000		
	その他	3,383			3,353		
	計	225,270	0	0	226,313	0	0
総計(収入-支出)		0	0	0	0	0	0

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位: %

年度	2022	2023	2024	2025	2026
経常利益率	5.5	-0.9	-3.75		
負債比率	123.1	157.2	184.29		

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	(1) 光熱水費高騰に対応して、当初の指定管理料を増額した。2023年度と比較し、事業収入が約8,000千円、駐輪場の利用料金収入が約4,000千円増加したため、収支は黒字となった。 (2) 法人の経常利益率は収支の赤字によりマイナスとなった。労務単価の上昇による人件費関連の費用が増加しているほか、法人の端末更新等、一時的な費用の増加があったと確認した。負債比率は高いが、事業の前受金や預かり金が多いことによるもので、今後も継続して安定した施設運営が可能である。